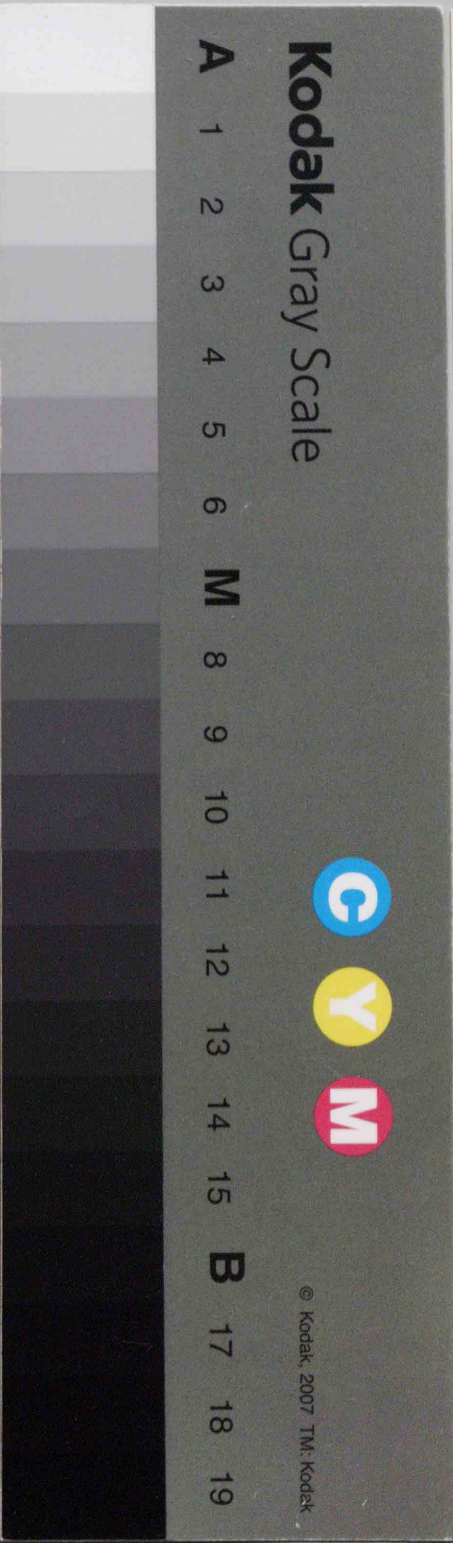
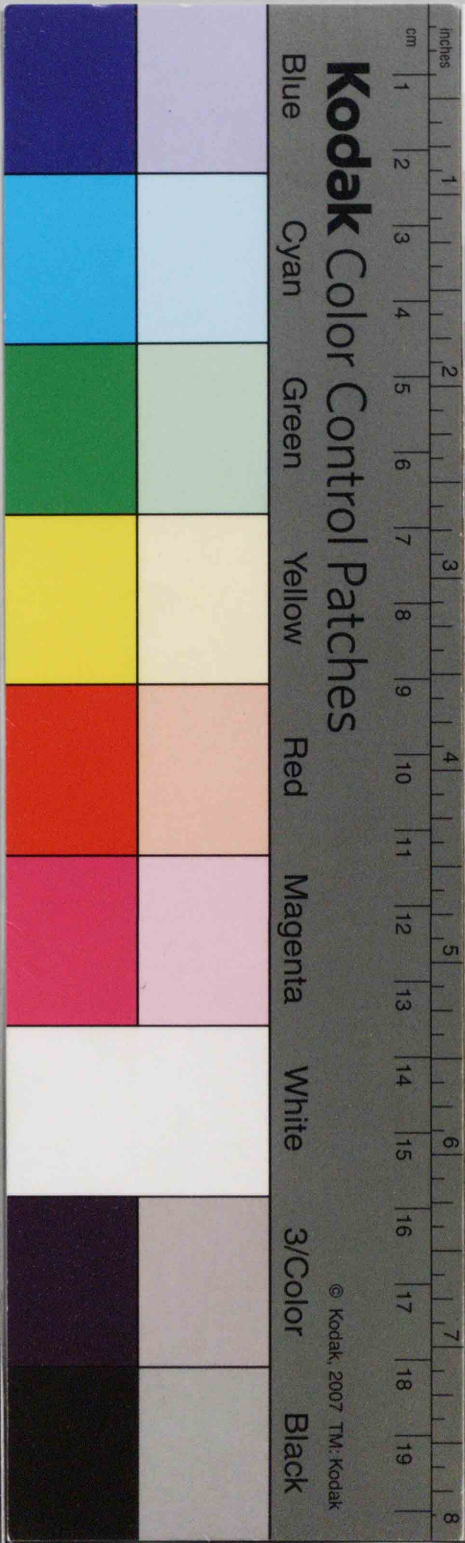
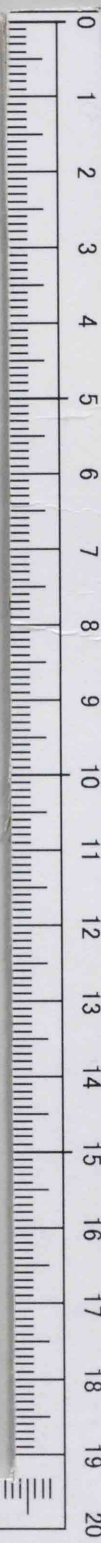


天井
藏書

文部省檢定濟



用適科教
歌年幼
卷五編四



40365

教科書文庫

4
760
31-1909
01304 49491



© Kodak, 2007 TM: Kodak



明治三十六年七月二十二日

文部省檢定濟

尋常小學校唱歌教科用童兒

教科
適中
幼
童
唱
歌

四
編
五
卷

納所辨次郎
田村虎藏

共編

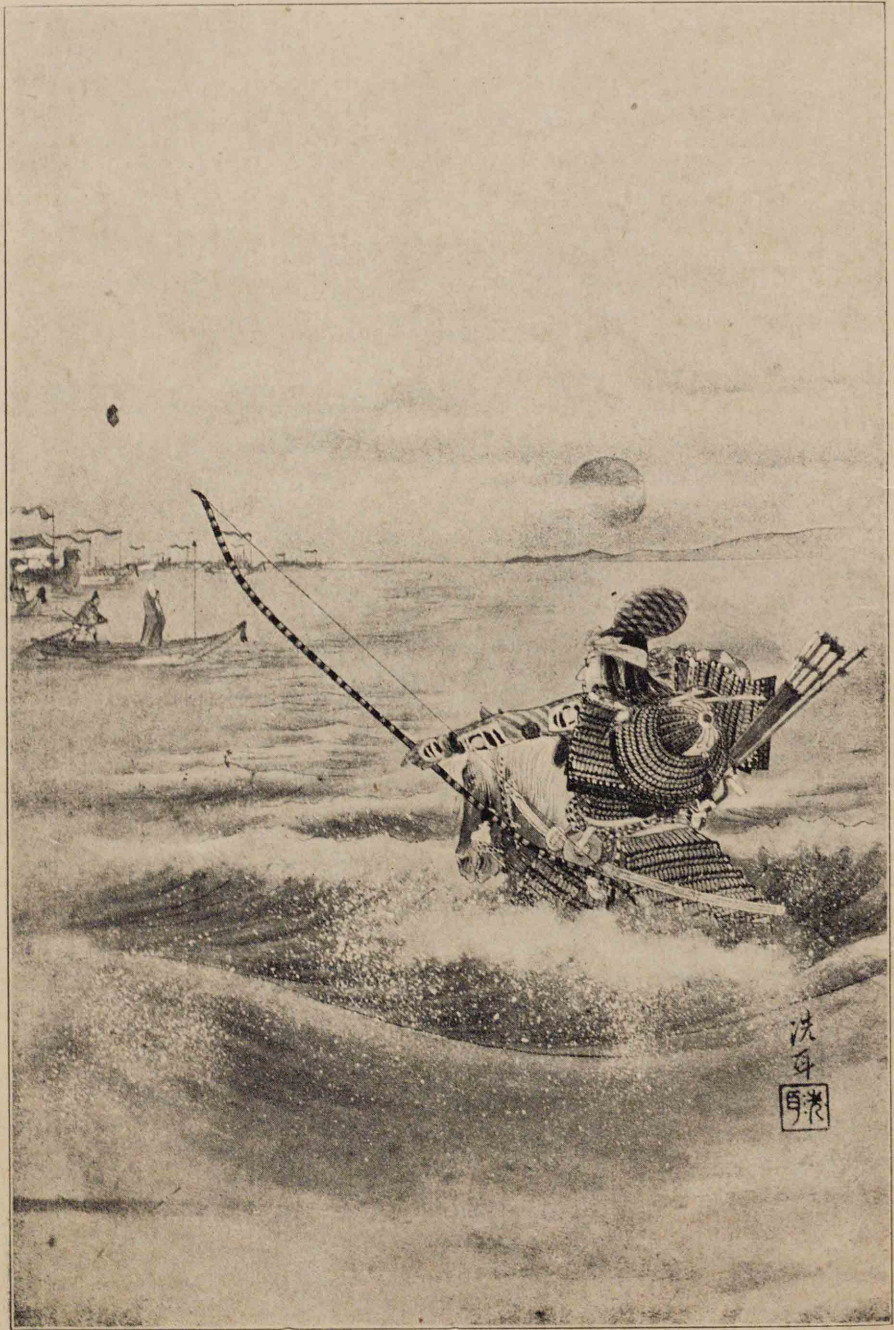
東京 銀座 十字屋發行

中央圖書館

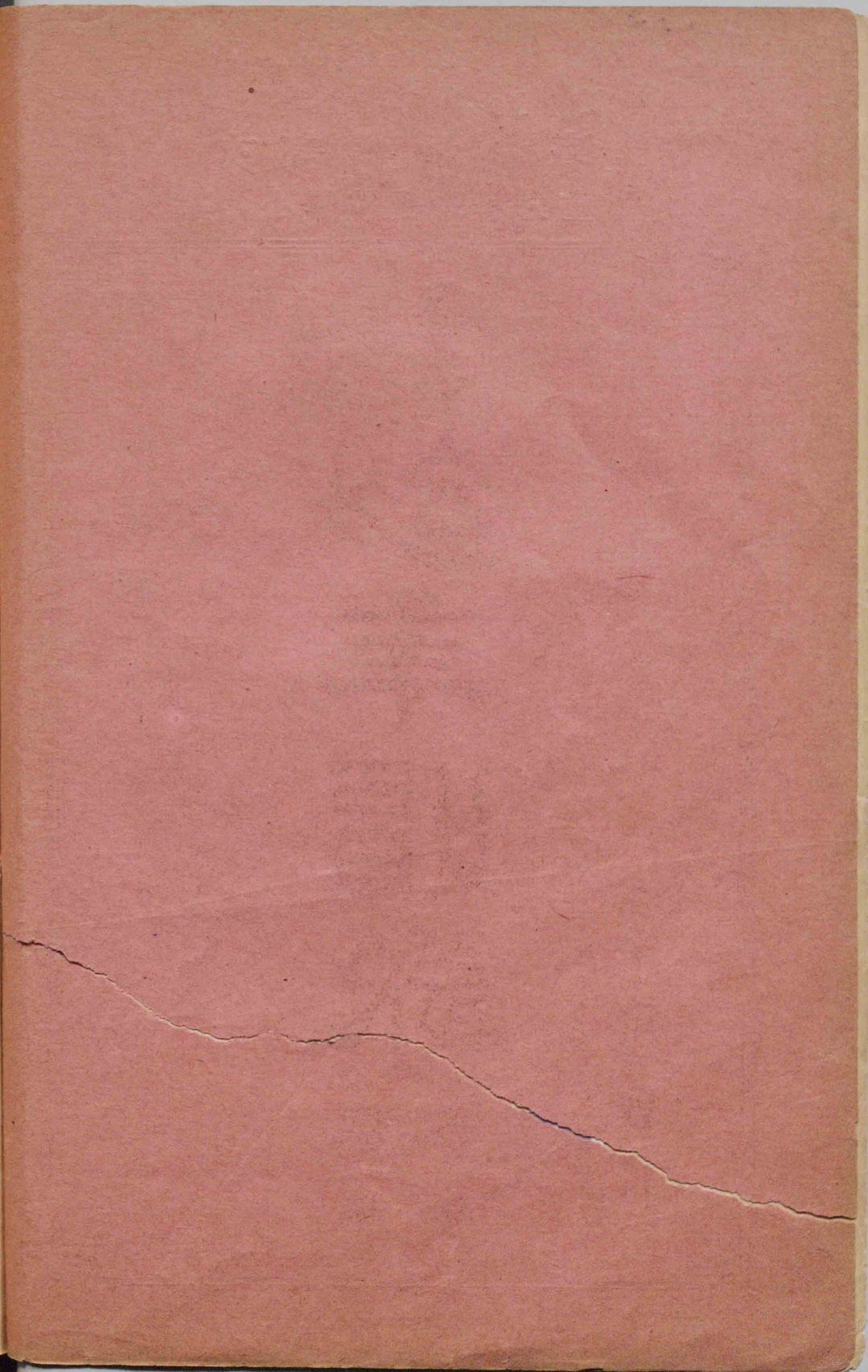
広島大学図書

0130449491





洗身
百卷



緒言

本書は、現今小學校の唱歌教授に於ける一般の弊習を救済し、教育的教授に適切なる教材を供給せんが爲に編纂せるものなり而して其教材は、尋常第一學年より高等第四學年に至る迄、各學年各學期に配當したれば、順次編を逐ひて教科用書に充て得べきものとす。編纂の要旨下の如し。

一、題目、尋常科には、専ら修身、讀書科に關係を有する事項及び四季の風物に因みて之を取り、高等科には更に地理、歴史、理科等の教科に關係を有する事項を加へ、以て各教科の統一を完からしめんことに力めたり。

一、歌詞、多年小學教育に經驗を有する識者の手に成りて、兒

童の心情に訴へ、程度を察し、平易にして理解し易く、而も詩的興味を失はざるものより漸く進みては古今名家の作に及ぼし、以て國民感情の養成に資せんとせり。

一、曲節、多年編者研究の結果に出で、能く其音程、音域の如何を審査し、兒童が心身發達の程度を精察し、初は快活にして流暢なるものより、漸く優雅にして諄美なるものに進め、以て審美的感情を育成せんことを期せり

以上の外、詳細の用意及び音樂上併に教授上の注意に至りては、每卷これを記述せり。

明治三十五年八月廿五日

編者識す

教科 幼年唱歌 四編上卷

凡例

一、本編は、尋常小學第四學年第一學期間と、第二學期の前半とに教授すべき材料を配當せるものなり。而して歌曲の數十個は、毎週二時間宛教授するものとしての最多限なり。故に教授時間の事情により、これが取捨撰擇は教師の任意たるべし

一、本編の歌詞は、一般兒童にもよく了解せしめんが爲め、此學年讀書科の程度に鑑みて之を記載し、出來得べき丈け大字を用ひたり。曲節は凡て兒童の唱歌し得べき音域内に記譜したるが故に、記譜の各調子にて直ちに教授するを得べし。

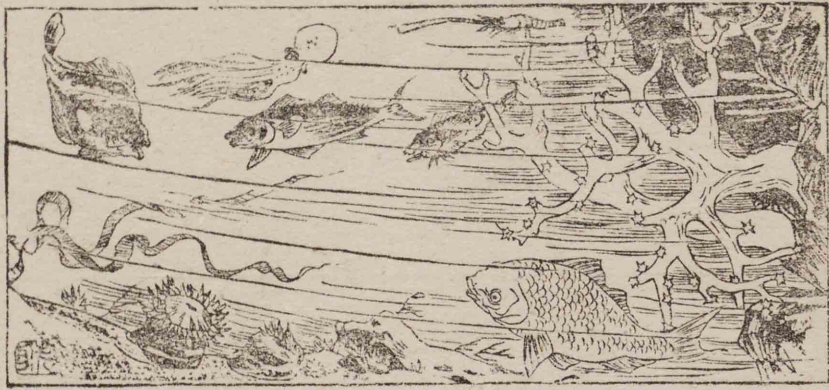
一、本編歌曲の強弱は、片假名の略號及び他の諸記號にて之を表はせり。即ちヨ又は「p」は弱く、ツ又は「f」は強く、チ又は「mp」は中等に、「mf」はこれより稍や強く、ッ又は「シ」は次第に強く、シ又は「シ」は次第に弱く、其數部分を諸ふべきことなり。強弱は、唱歌上最も大切なれば、注意せん事を要す。

教授上一般の注意

- 一、此學年にも、先づ氣息呼吸法を行ふべし。其方法は初編下卷に説けるものと同じ。是れ唱歌するに先ちて肺臟の運動を自在ならしむるものなれば、室内の空氣清淨なる日に於ては、常に之を行はん事を望む。呼吸法は、外國に於て専ら之を行ふものなるが、予輩は多年實驗に徹して、其効果の多きを認むるものなり。
- 二、次に音階圖を示し、又は簡易なる曲節を略譜にて提示し、以て音程練習と共に發音練習をなすべし。發音練習は第三學年に準じて五十音の發聲を正すにあり。此際其口形に注意し、且つ姿勢を矯正せん事を要す。次に歌詞を假名にて横書し、之を各小節に區分して拍子の練習をなしつゝ、口授法によりて教授すべし。或は時に、極めて簡單なる曲節を略譜にて示し、以て視唱法を始むるも可なり。而して呼吸法、音程練習、發音練習の三箇練習は、極めて之を機敏に取扱ひ、教授時間の四分の一を超過せざる様注意すべし。
- 三、歌詞の解釋は、始めは大体に止め、歌曲出來上りて後更に復び之をなすを可とす。而して兒童唱歌教授上、繪畫を使用せんは、意外の興味を添ふるものなれば、教授者は該編中に挿入したる圖案を參考して、豫め一定の畫面を用意し、教授の際常に之を使用せんことを望む。
- 四、兒童の心情は、絶えず活動し且つ快活なり。故に歌曲の速度は概して急速なるを可とす。而して本編收むる所の十曲は、何れも他教科との連絡を保てり。即ち「近江聖人」「徳川光圀」「源平の戦」等は此學年に適したる修身訓話。其他は悉く讀書、地理、歴史科等の教材に關係あるものなれば、教授者相當の問答講話をなしたる後、教授せん事を要す。

教科適用 幼年唱歌 四編上卷 目次

海	近	山	夕	蜂	汽	菊	行	徳	源
の	の	の	の	の	の	の	の	の	の
世界	聖人	江路	旅立	船	軍	國	光	川	平
の	の	の	の	の	の	の	の	の	の
作曲者	作曲者	作曲者	作曲者	作曲者	作曲者	作曲者	作曲者	作曲者	作曲者
納所辨次郎	内田糸太郎	納所辨次郎	田村虎藏	不明(西洋曲)	納所辨次郎	田村虎藏	不明(西洋曲)	納所辨次郎	田村虎藏
七	九	十一	十三	十五	十七	十九	廿一	廿三	廿五



海の世界

一、千ひろの海の、
 その底に、
 高さ山あり、
 谷もあり、
 いとめぐらしき、
 草や木の、
 花うるはしき、
 園もあり、
 水に生れて、
 水に住む、
 あまたの魚や、
 けものなど、
 こゝにかしこに、
 遊ぶなる、
 海の世界ぞ、
 おもしろき。

二、

三、たいまいさんぞ、
 しゃくしんじゆ、
 世の人々の、
 もてはやす、
 たふとき玉の、
 かずかずも、
 みな海よりぞ、
 得られける。

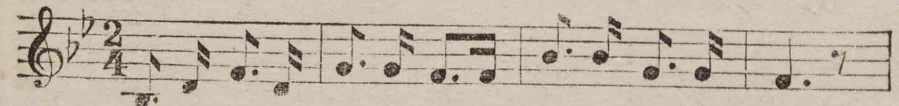
四、海は、寶の、
 庫なれや、
 深くもひろき、
 その庫の、
 寶さぐりて、
 子どもらよ、
 御國の富を、
 つくれかし。

海の世界

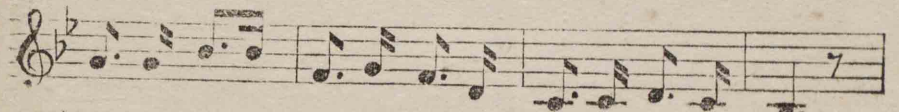
(變り調二拍子)

愉快 =

納所辨次郎 作曲



1.	3	5	3	6.	6	5.	5	i.	i	6.	6	5.	0
1. 2. 3. 4.	チミタウ	ヒツイー	ロニマミ	ノウイハ	ウマサタ	ミレンカ	ノチゴラ	ー	ー	ソミシヤ	ソニシナ	コスシレ	ニムジュヤ



6.	6	i.	i	5.	6	5.	3	2.	2	3.	2	1.	0
タアコフ	カマノカ	キタヒク	ーノトモ	ヤウビヒ	マナトロ	アヤノキ	リー	タケモソ	ニモテノ	モノハク	アナヤラ	リドスノ	



i.	i	2.	2	3.	3	2.	2	i.	6	i.	2	5.	0
イコタタ	トコフカ	メニトラ	ヅーキー	ラカタサ	シシマク	キコノリ	ーニエテ	クアカコ	サソズド	ヤブカモ	キナズラ	ノルモヨ	



6.	6	5.	6	i.	i	3.	3	2.	2	3.	2	1.	0
ハウイミ	ナミナク	ウノウニ	ルーミノ	ハセヨト	シカリミ	キイゾチ	ーゾー	ソゴエツ	ノモラク	モシレン	アロケカ	リキルシ	



近江聖人 作歌 石原和三郎

一、身を修むるぞ、
本なるを、
説きおかれたる、
聖人の、
教にふかく、
感せしは、
年十一の、
時と高さ、
山より、
親の恩、
親のためは、
金の銀も、
祿も位も、
なにかはと、
大洲を去りしは、
二、
十、
七。

三、さて、母親の、
ひさもとに、
朝ゆふ近く、
かしてきて、
心をなぐさめ、
身をやすめ、
孝養いたらぬ、
くまもなし。

四、そのいとまには、
里人の、
忠孝の道、
説きをしへ、
なにし近江の、
聖人と、
美名を今に、
傳へけり。

近江聖人

(は調四拍子)

温和

内田象太郎 作曲

Musical score for '近江聖人' in 4/4 time. The score consists of four staves of music with corresponding Japanese lyrics below each staff. The lyrics are: 1. ミヤサツ ナマテノ ナヨハイ サリハト ムタオマ ルカヤニ ヅーキノハ モオヒサ トヤザト ナノモビ ルオトト トンニニ 2. トオアチキヤサー オノユコ カタフー レメチノ タニカミ ルハクチー メキカト インシキ シギヅチ ンンキシ ノモテハ 3. チロコナ シーコニ ヘクロシ ニモチア フクナフ カラグミ クモメー カナミセ ンニナイ セカヤジ シハスン ハトメト 4. トオコビ シホーメ ジスヨイ ーチーチ イサイイ チリタマ ノシラニ トニクツ キジマダ トーモヘ カヒナケ ヤチシリ



山路の旅
作歌 旗野士良

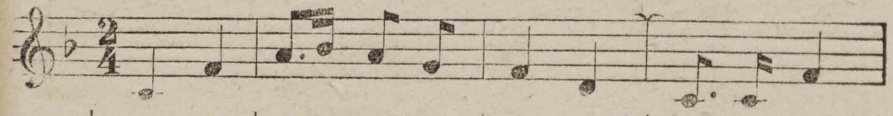
一、世に、おもしろき、けふの旅よ
一足とに、登る山路
木の根は踏みこえ、岩根は跳ねこえ
はやく進めよ、楽しき境に
身は、しら雲の、うちれありと、
ふもとを望む、目より氣附く、
あの森この里、かすかに見えても、
みなくわれ等が、経て來しところぞ、
三、山また山の、奥はゆかし、
浮世のほかの、花もありて、
學びの道ぐさ、つみてや歸らん、
それくめづらし、そこにも、ここにも

山路の旅

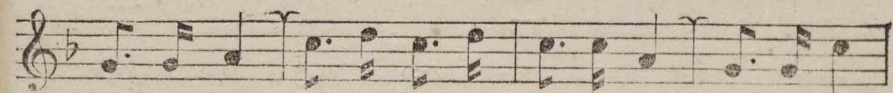
(へ調二拍子)

樂シゲニ

納所辨次郎 作曲



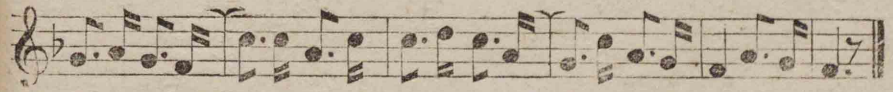
5. 1 | 3. 4 3 2 | 1 6 | 5. 5 1 |
1. ヨ ニ オ ー モ シ ロ キ ケ フ ノ
2. ミ ハ シ ー ラ ク モ ノ ウ チ ニ
3. ヤ マ マ ー タ ヤ マ ノ オ ク ハ



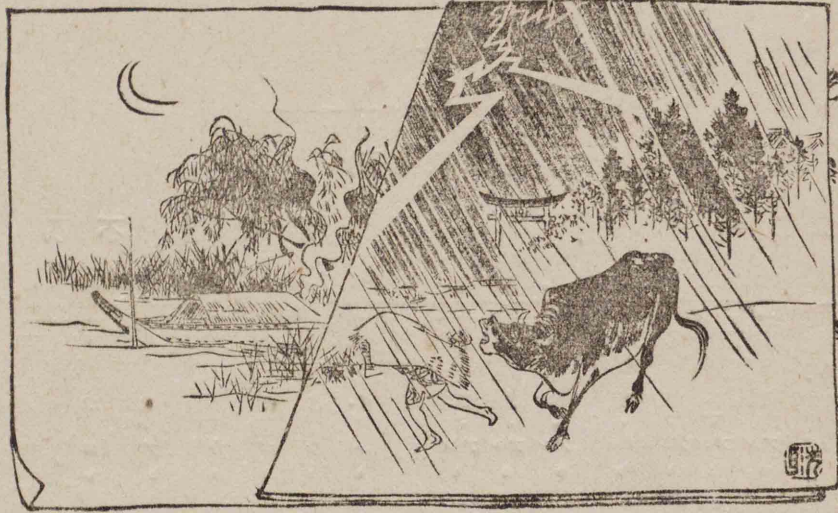
2. 2 3 | 5. 6 5. 6 | 5. 5 3 | 2. 2 5 |
タ ビ ヨ ヒ ト ア シ コ ト ニ ノ ホ ル
ア リ ト フ モ ト チ ノ ホ カ ノ メ ヨ リ
ユ カ シ ウ キ ヨ ノ ホ カ ノ ハ ナ モ



3. 2 1 | 5. 6 5. 1 | 2. 3 2. 1 | 5. 6 5. 1 |
マ ゼ ク ア ノ ネ ハ フ ミ コ エ イ ハ ネ
キ ツ ク ア ノ モ リ コ ミ チ グ サ ツ ミ テ
ア リ テ マ ナ ビ ノ ミ チ グ サ ツ ミ テ



2. 3 2. 1 | 5. 5 3 5 | 5. 6 5. 3 | 2. 5 3. 2 | 1 3. 3 | 1. 0 ||
ハ ネ コ エ ハ ヤ ハ ヤ ス ス メ ヨ タ ノ シ キ サ カ ロ ニ
ミ エ テ モ ミ ナ ミ ナ ソ ソ ラ ラ ガ タ ヘ テ キ シ ト コ ロ ソ
カ ヘ ラ ソ ソ レ ソ レ メ ズ ラ シ ソ コ ニ モ コ コ ニ モ



一、一むらがりひとむらがりの夏なつの雲くも、
 かなたの峰みねに、かゝるよと、
 見るまに、一天いちてんかきくもり、
 耳みみをつんざく雷かみなりのおと。
 二、電光でんくわ、まなこを、くらまして、
 しのつく雨あめは銀ぎんのはり、
 道みちは、たきつせ庭にわは海うみ、
 世界せかいは水みづに、ならんとす。
 三、やがて雷電かみなり、をさまりて、
 雨あめやみ空そらも、はれ渡り、
 野邊のべの草木くさきは、生きかへり、
 青葉あおばをつたふ、露つゆきよし。

夕立

(と調二拍子)

爽快

田村虎藏作曲

77 3

5. 5 3 2 | 1. 1 7 6 | 5. 5 6 6 | 6. 0

1. ヒ ト ム ラ ガ リ ノ ー ナ ツ ノ ク シ モ
 2. デ ン コ ー マ ナ コ ナ ク ラ マ シ テ
 3. ヤ ガ テ ー ラ イ デ ン チ サ マ リ テ

77 0

1. 1 4 3 | 2. 2 1 | 2. 2 3 3 | 3. 0

カ ナ タ ノ ガ リ ニ カ カ ル ヨ ト
 シ ノ ツ ク ミ ア メ ラ ニ ハ モ キ シ ヨ ハ タ
 ア メ ヤ ミ ソ ラ モ ハ レ ロ タ リ リ

77 5

5. 5 5 5 | 3. 3 1 1 | 6. 7 1 1 | 5. 0

ミ ル マ ニ イ ツ テ シ カ キ グ モ リ
 シ ノ ハ ノ ー タ キ サ キ ハ イ キ カ ハ ウ ミ
 ノ ベ ー ク サ キ ハ イ キ カ ハ ヘ リ

77 5

5. 5 3 2 | 1. 1 2 2 | 3. 3 2 2 | 1. 0

ミ カ チ イ ハ チ ツ シ ツ ザ グ ラ イ ノ ガ ト
 セ カ バ ナ タ フ ー ナ ヲ ヲ キ ヲ ス
 ア チ パ ナ タ フ ー ナ ヲ ヲ キ ヲ シ

夕立

作歌 石原和三郎



蜂

蜂
作歌 高木和足

一、ブンくブンく、ブンくく、
蜂が、とぶよ。
あれ見よ、草葉に、
とまりつ、たちつ、
うれしげにたのしげに、
あそぶ、蜂を見よや。
二、ブンくブンく、ブンくく、
蜂が、とぶよ。
あれ見よ、花の上に、
たわます、うます、
うれしげに、たのしげに、
はげむ、蜂を見よや。

十五

蜂

(と二調拍子)

快活ニ

作曲者 不明

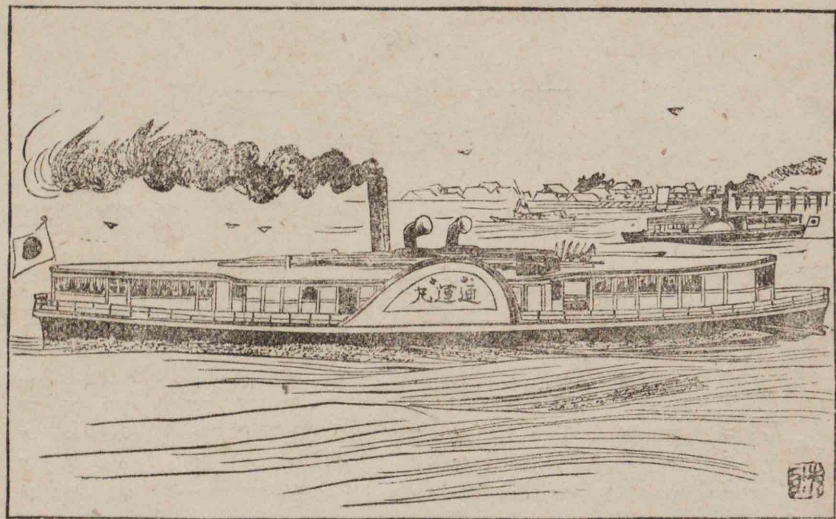
1. $\underline{1} \underline{5} \underline{5} \underline{5}$ | $\underline{6} \underline{5} \underline{5} 0$ | $\underline{1} \underline{1} \underline{2} \underline{2}$ | $\underline{3} \underline{2}$ |
 2. $\backslash \backslash \backslash \backslash$ | $\backslash \backslash \backslash$ | $\backslash \backslash \backslash$ | $\backslash \backslash$ |

3. $\underline{3} \underline{4} \underline{5} \underline{4} \underline{3}$ | $\underline{2} \underline{3} \underline{4} \underline{3} \underline{2}$ | $\underline{3} \underline{1} \underline{6} \underline{2}$ | $\underline{5} \underline{6} \underline{5} \underline{4}$ |
 アレミヨー | クサバニー | トマリツ | ターチツ
 アレミヨー | ハナノヘニ | タママズ | ウーマズ

3. $\underline{3} \underline{6}$ | $\underline{5} \underline{4} \underline{3}$ | $\underline{1} \underline{4}$ | $\underline{3} \underline{2} \underline{1}$ |
 ウレ | シゲ | タノ | シゲニ |

2. $\underline{2} \underline{2} \underline{2} \underline{7} \underline{7} \underline{7}$ | $\underline{1} \underline{6} \underline{5} 0$ ||
 アソアハ | ミヨヤ
 ハゲムハ | ミヨヤ

十四



汽船

作歌 石原和三郎

一、ゴトく、ガバく、

二、ゴトく、ガバく、

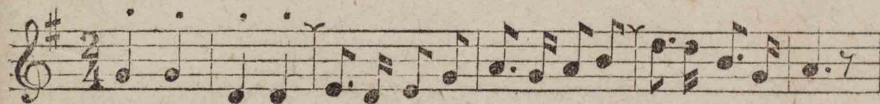
汽船は、港をはなれたり。
櫓かいも、いらす、帆も竿も、
大浪小浪を、かきわけて。
はてなき大洋、走りゆく
汽船は、ほとばをはなれたり。
櫓かいもいらす、帆もさをも、
流る、水に、さからうて、
みなぎる大河、のぼりゆく。

汽船

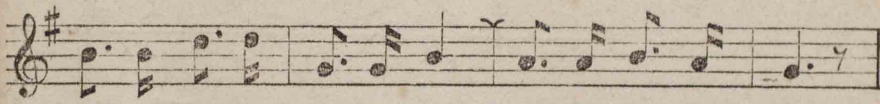
(と調二拍子)

輕決ニ

納所辨次郎作曲



1 1 | 5 5 | 6. 5 6 1 | 2. 1 2 3 | 5. 5 3. 1 | 2. 0 |
1. ゴトゴト ガバガバ キセンハ ミナトチ ハナレタリ
2. ゴトゴト ガバガバ キセンハ ハトバチ ハナレタリ



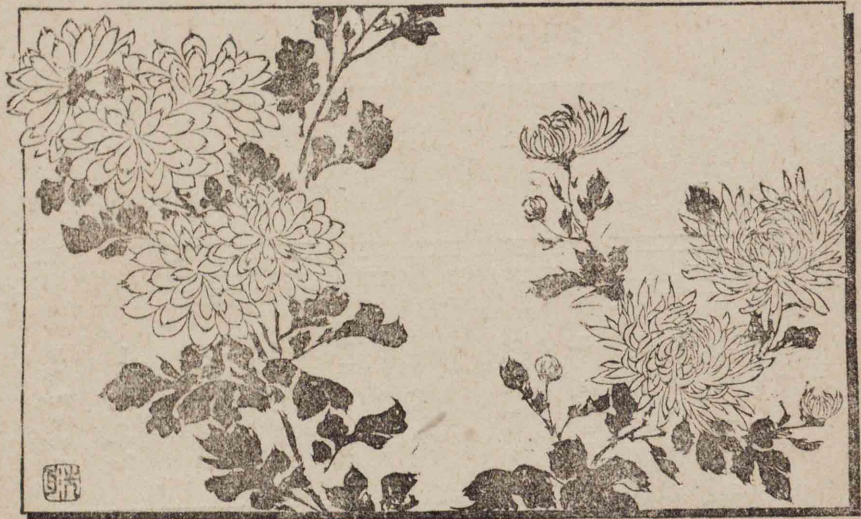
3. 3 5. 5 | 1. 1 3 | 2. 2 3. 2 | 1. 0 |
ロカイモ イラズ ホモサチモ
、 、 、 、 、 、 、 、 、



1. 1 6. 1 | 6. 1 6. 5 | 3. 5 6. 5 | 5. 0 |
オホナミ コナチ カキワケテ
ナガルル ミヅニ サカラウテ



3. 3 2. 3 | 5. 5 3. 2 | 1. 2 3. 2 | 1. 0 |
ハチナギル オホカハ ノボリユク



菊

菊

作歌 旗野士良

一、意志ありとも、白菊、黄菊、
 菊は、うれしき、御宴の名譽、
 えてこそ花と、世の秋の、
 垣根の霜に、ほこらめ。
 二、露に匂へる、玉菊、小菊、
 きくもかしこき、御冠の挿頭、
 さすがに花と、世の人に、
 羨まる、も、ことわり。
 三、かゝるめぐみの、露さへおきて、
 むかし賜ひし、御盃のかをり、
 千歳の今も、みなと川、
 浪残を嗚呼、きくすぬ。

十九

菊

(と調二拍子)

優美 = 稍早ク

田村虎藏作曲

Musical score for 'Chrysanthemum' (菊) in 2/4 time, composed by Torakazu Tamura. The score consists of four staves of music with three vocal lines and a piano accompaniment line. The lyrics are written below the notes.

Staff 1 (Vocal 1):
 5 5 5 | 6 6 5 6 | 1 3 2 1 | 2 2 5 0
 1. コ コ ロ ア リ ト モ シ ラ ギ ク キ ギ ク
 2. ツ ユ ニ ニ ホ ヘ ル タ マ ギ ヲ コ ギ ク
 3. カ カ ル メ グ ミ ノ ツ ユ サ ヘ オ キ テ

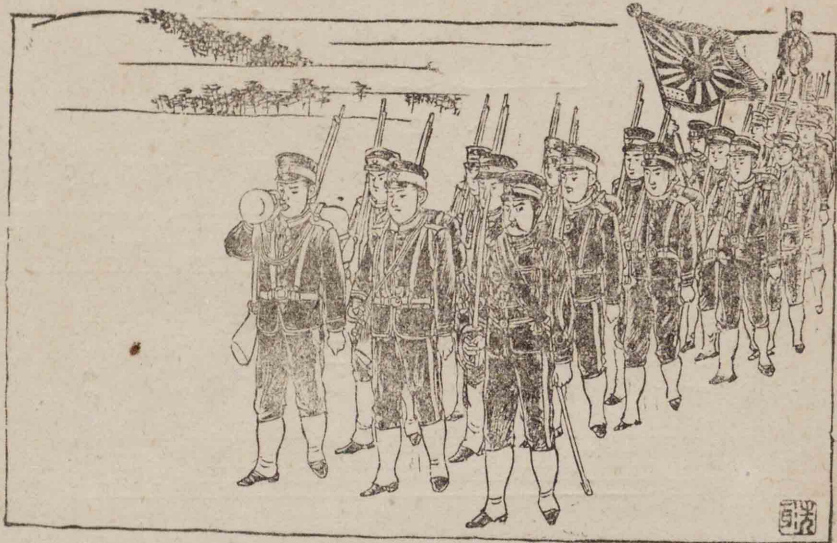
Staff 2 (Vocal 2):
 5 5 3 | 2 2 1 3 | 2 2 1 6 | 5 5 6 0
 キ ク ハ ウ レ シ キ ギ エ シ ノ ホ マ レ
 キ ク ハ モ カ カ シ コ キ ギ ヲ カ シ ノ カ ザ シ
 ム カ シ タ マ ヒ シ ギ ヲ ハ イ ノ カ ナ リ

Staff 3 (Vocal 3):
 5 6 1 | 2 1 2 | 3 2 1 | 5 0 | 4 3 1 | 2 3 0
 エ テ コ ソ ハ ナ ト ヨ ノ ア キ ノ
 サ ス ガ ニ ハ ナ ト ヨ ノ ヒ ト ニ
 チ ト セ ノ イ マ モ ミ ナ ト ガ ハ

Staff 4 (Piano):
 2 3 2 1 | 6 6 5 5 | 3 2 | 1 0 ||
 カ キ ネ ノ シ モ ニ ホ コ
 ウ ラ ヤ マ ル モ ニ ホ コ
 ナ コ ヲ マ チ ア ハ レ キ

十八

行軍



行軍

作歌 杉谷代水

一、見よく兵士の行軍、

足並そろへて、きたる。

あれく喇叭のおと、

ふし面白く吹くよ。

テチテタ、ドトトトト、トテトタ、ドトトトト、

隊伍正しく進む。

二、こよく我等の行軍、

足並そろへて進め。

ふけく行進喇叭、

ふし勇ましく吹けや。

テチテタ、ドトトトト、トテトタ、ドトトトト、

隊伍正しく進め。

行軍

(と調二拍子)

快活ニ

作曲者不明

Musical score for 'March' (行軍) in 2/4 time, key of D major. The score consists of three systems of music with numbered fingerings and lyrics below.

System 1:
 1. { 5. ミアコフ | 1. ヨレヨケ | 3. ミアコフ | 2. ヨレヨケ | 1. ヘラマコ | 7. イツレー | 6. シバラシ | 7. ノノン | 1. コーゴラッ | 5. ゲンゲンバ }
 2. { }

System 2:
 2. { アフアフ | 1. シンシン | 7. ナオナイ | 1. ミモミサ | 2. ソシソマ | 5. ヘロヘシ | 6. テクテク | 7. キフスフ | 6. タグスケ | 5. ルヨメキ | 0. :|| }

System 3:
 4. { テ、テ、 | 5. チ、チ、 | 4. テ、テ、 | 3. タ、タ、 | 2. ド、ド、 | 5. ト、ト、 | 5. ト、ト、 | 5. ト、ト、 | 5. ト、ト、 | 5. ト、ト、 | 5. テ、テ、 | 6. ト、ト、 | 5. タ、タ、 | 4. フ、フ、 | 3. ト、ト、 | 1. ト、ト、 | 1. ト、ト、 | 1. ト、ト、 | 1. ト、ト、 | 3. タ、タ、 | 2. イ、イ、 | 3. コ、コ、 | 4. タ、タ、 | 5. ダ、ダ、 | 1. シ、シ、 | 2. ク、ク、 | 3. ス、ス、 | 2. ス、ス、 | 1. ム、ム、 | 0. :|| }



徳川光國

徳川光國

作歌 桑田 春風

一、慷慨志士を
 王に勤めて、
 歴史あみては、
 世々の跡をば、
 あゝ高し、
 義公のいさを、
 西山の月影きよく。

二、忠臣楠氏を、
 時を憂へて、
 湊川原に、
 りもれし名をば、
 あゝゆかし、
 義公のこゝろ、
 瑞龍のほまれは、つきず。

あつめては、
 義を唱へ、
 皇國の、
 正しけり。

しのびては、
 世を諷し、
 碑を建て、
 あらはしぬ。

徳川光國

(ハ調二拍子)

誠情ヲ以テ

納所辨次郎 作曲

チ

5 5 | 1. 1 | 1. 1 | 3. 3 | 2. 1 | 5. 0

1. コー ガイ シン シン チー ア ツ メ テ ハ
 2. チュー シン ナ シン シ チ ア シ ノ メ テ ハ

5. 5 5 | 3. 3 3. 3 | 6. 6 6. 6 | 5. 0

ハ ト キ ニ ナ ッ ト レ メ テ ギ ヨ ナ ト ナー ヘ シ

チ

3. 3 3 | 4 3 2 1 | 2. 2 2 1 2 | 3. 0

レ ミ ナ シ ト ア ガ ミ ハ テ ラ ニ ス メ グ ニ ー ノ テ

ツ

5. 5 5. 5 | 6. 6 5 3 | 2 2 3. 2 | 1. 0

ヨ ヨ ノ ー シ ア ト ナ バ ー タ ダ シ ク リ メ

チ

2 2 | 3. 3 3 | 4. 4 3 2 | 3. 4 5 | 5 5 | 6. 6 5 | 4 3 2 3 | 5. 5 1

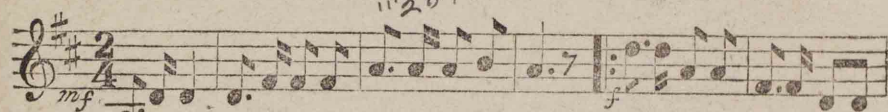
ア ア タ カ シ ギ コ ー ノ イ サ チ ニ シ ヤ マ ノ ツ キ カ ゲ キ ヨ ク
 ア ア ヌ カ シ ギ コ ー ノ コ コ ロ ズ イ リ ユ ー ノ ホ マ レ ハ ツ キ ズ

源平の戦

(に調二拍子)

活潑ニ

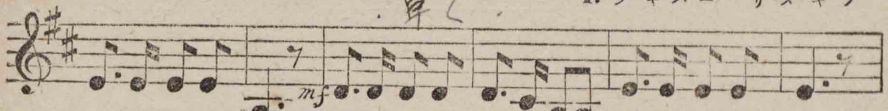
田村虎藏作曲



5. 1. 1 | 1. 3 3 3 | 5. 5 5 6 | 5. 0 | 1. 1 5 5 | 3. 3 1 1 |

ゲン シ ヘ イ ケ ノ タ タ カ ヒ ハ | 1. マ ツ テ ハー | シ ガー |

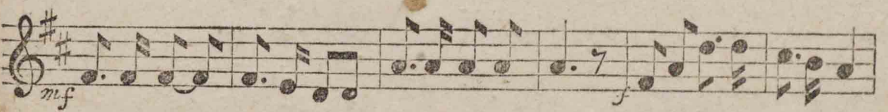
注意 { 此一句は教師又は児童の或 }
 { もに唱へざるも可なり。 }
 2. ツギハハハ | エツツキ |



2. 2 2 2 | 5. 0 | 1. 1 1 1 | 1. 7 6 6 | 2. 2 2 2 | 2. 0 |

フ シ ガ ハ ヨ ヘ イ ケ ノ グ シ ゼー | マ マ ア ヨ ツ キ |

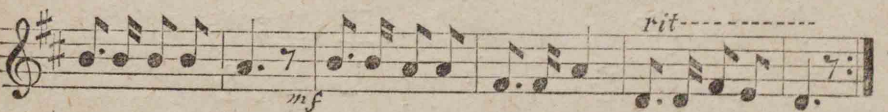
ト ナ チ シ マ ヨ マ ニ ラ ヨ シ ド ト カ リー | ヲ ウ シ ノー | カ リ カ タ |



3. 3 3 3 | 3. 2 1 1 | 5. 5 5 5 | 5. 0 | 3 5 1. 1 | 7. 6 5 |

ヨ ハ ノ 一 ツ ハ ヨ ネ ツ シ コ ザ ノ ニ ニ ミ ツ ト リ ヲ ノ ト ビ タ ツ オ ト ニ |

タ ヘ イ マ ケ キ ケ キ キ キ キ キ キ キ キ キ キ キ キ キ キ キ キ キ |



6. 6 6 6 | 5. 0 | 6. 6 5 5 | 3. 3 5 | 1. 1 3 2 | 1. 0 |

オ ド ロ ケ テ エ モ ノ モ ス テ ニ テ ニ |

ク シ チ ネ カ ザ ネ ア ツ カ ラ リ ニ シ ハ |

源平の戦

作歌 石原和三郎

一、源氏平家のた、かひは
 まづ手はじめが富士川よ。
 平家の軍勢五萬餘騎
 夜半のねざめに水鳥の、
 とびたつ音に驚きて、
 え物もすててにけ歸る。」

二、つぎは越中となみ山。
 義仲牛をかりあつめ、
 松明角にむすびつけ、
 平家の軍にけしかけて、
 くりから谷に追ひ落す。」

三、つぎは攝津の一の谷。
 ひよどり越の阪おとし、

四、つぎは讃岐の屋島浦。
 陸と海とのたたかひに、
 景清しころを引ちぎり、
 那須野の與一、宗高は、
 扇のまとを射たりけり。」

五、をはりは長門の壇の浦。
 白旗赤旗いりみだれ、
 波をけたてて戦ふに、
 平家の運命つきはてて、
 底のもくづとなりけり。」

明治三十五年九月十二日印刷
 明治三十五年九月十五日發行
 明治三十六年七月十三日訂正再版發行
 明治三十七年十月十五日三版發行
 明治四十二年五月二日四版發行



(譯譜及謄寫ヲ許サズ)

正價金拾錢

編者 納所辨次郎
 同 田村虎藏
 同 倉田繁太郎
 同 十屋
 同 青山藤四郎
 同 青山活版所

1910.7.17

糸

百九

広島大学図書
0130449491
